

卒業生の和田伸也さんが世界パラ陸上競技選手権大会 陸上男子5000mで銅メダルの快挙



銅メダルを獲得した和田さん(写真左)

関西大学卒業生の和田伸也さん(一般財団法人大阪府視覚障害者福祉協会)が、7月14日から23日にロンドンで開催された陸上男子5000m(視覚障害T11)で、見事、銅メダルに輝いた。記録は15分54秒29で自己ベストの15分50秒87の日本記録にはわずかに届かなかったが、安定した走りを見せた。2015年の世界パラ陸上(ドーハ)から2大会連続で同種目銅メダル獲得となり、「メダル獲得という目標を達成してうれしい。100点満点です」と喜びを語った。

和田さんは2000年に社会学部を卒業、2002年に社会学研究科を修了し、在学中は社会福祉学を専攻。2010年のアジアパラ競技大会5000mで4位に入賞し、2014年のアジアパラ競技大会では、800m、1500m、5000mすべての種目で金メダルを獲得し三冠を達成した。

理工学研究科 古屋敷賢人さんが 第66回高分子学会年次大会で優秀ポスター賞を受賞

5月29日から31日、千葉県・幕張メッセで開催された第66回高分子学会年次大会において、古屋敷賢人さん(理工学研究科1年次生)が優秀ポスター賞を受賞した。

同大会は、毎年2,200件を超える研究発表が行われる大規模な研究集会。

受賞したテーマは、「スバイタゲースパイキャッチャー反応を利用した血中病原体物質除去用ナビゲーター分子の開発」で、昨年4月より国立循環器病研究センター研究所と共同研究を進めてきた。古屋敷さんは、「2つの機能をもつ分子をつなぎ、それが結合しているかを判断・分析するのが大変だったけれど、努力が報われたようでうれしい。今後は薬剤合成のスキルや研究の手法を生かし、化学系の会社で研究職に就きたい」と思いを語った。



第29回全国大学弓道選抜大会・女子の部で 体育会弓道部が初優勝!

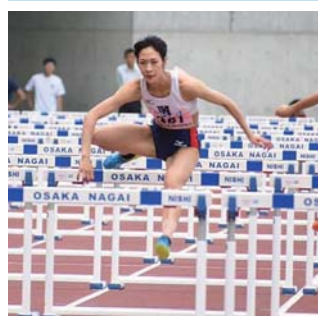
6月24日から25日、第29回全国大学弓道選抜大会が東京都・全日本弓道連盟中央道場・明治神宮武道場至誠館弓道場にて開催され、体育会弓道部女子が待望の初優勝を収めた。



提供：関大スポーツ編集局

準決勝の相手は、昨年の王座決勝で敗れた桜美林大学。2度にわたる同中競射を制し、接戦をものにした。続く決勝も勢いそのままに、大一番で最良の数字を出して1本差で日本大学に勝利。9月のリーグ戦を控え、更なる快進撃に期待が寄せられる。

体育会陸上競技部の中村有希さんが 日本学生陸上競技個人選手権大会の女子100mHで優勝



▲第94回関西学生対校選手権大会(2017年5月)での中村さん(提供：関大スポーツ編集局)

6月9日から11日、神奈川県・Shonan BMWスタジアム平塚で開催された2017日本学生陸上競技個人選手権大会の女子100mハードルにおいて、体育会陸上競技部の中村有希さん(人4)が、悲願の金メダルに輝いた。タイムは13秒48。写真判定の末、0秒006差を制して初の全国タイトルを手にした中村さんは「思ったより高かった」と表彰台からの景色を味わった。

創立130周年記念事業募金等の「寄付者銘板」を設置



8月3日、千里山キャンパス正門横の新関西大学会館南棟に「学校法人関西大学寄付者銘板」が設置された。この銘板は、顕彰制度に基づき、2014年6月から2017年3月末まで実施された「創立130周年記念事業募金」並びに「高額寄付者顕彰銘板」として寄付者に対し、感謝と顕彰の意を表すもの。

当日の完成セレモニーでは除幕式が執り行われ、池内啓三理事長、芝井敬司学長らが謝意を述べ、150周年に向けた関大のビジョンや総合学園としての責務について決意を新たにした。